



## 井奥まさきの ニュース 市政報告NEWS

2005・6

臨時号

(通算40号)

このNEWSは、みどり・市民派をめざす高砂市議会議員井奥まさきによる市政レポートです。

市政提言 その3 事業の見直しを

3つの提言 公共建設事業の抑制  
/人件費の抑制/事業の見直し

高砂市議 井奥まさき

# 貧弱施設がたくさんより満足できる施設を

施設	理由
勤労青少年ホーム	時代に合わない施設 「勤労」って？
サービスコーナー (荒井・中筋・曾根)	公民館の職員でも「住民票」は出せませ ず。本庁の時間外に人員を回せば？
青年の家	赤字施設。廃止か民間移管を
みのり会館	直営は時代にあわない。廃止か民間へ
勤労体育センター	高砂市に二つも施設はいらない 廃止
幼稚園/保育園 /小学校/中学校	小子化と地域格差が大きすぎる。 数を絞って良い施設を。

前回より厳しい提言ばかりですが、私は「どうせしなければいけないのなら、しっかり議論を」という気持ちを込めて書いています。

高砂市の財政は一つの施策をすれば解決できる状態ではありません。だからこそ、全体を見通して現実的な提言をしなくてはならないのです。

さて、施設の統廃合は市民から厳しい声があがります。

しかし、誤解をおそれずに言えば「とにかくうちの地元には何か施設があればいい」という側面はないでしょうか。

特に高砂市は旧村意識が残っており、人口比や利用者からはかけ離れた配置になっています。そして、かつての豊かな時代に比べ、国の基準以外のものを持つ余裕は高砂市にはなくなりました。さらに、補修や建て替えの問題があります。

特に学校施設は、数を絞ることがあっても、きちんと手入れが行き届き、職員が配置された方が良いと思いますが。みなさんの意見を聞かせてください。

井奥の提言 ▶ こうすべき

旧村意識を捨て、合理的に施設配置を

豊かな自治体ではなくなった高砂市。それに合わせた施設数を。

民間を入れた「施設統廃合委員会」で議論し、統廃合を

結婚記念、お子さんの誕生記念に植木のプレゼント サービスコーナーや市民部で申し込み 担当は ( )

みどりの相談所

## 子育て日記

## 子連れポスティングしています

私は日頃はバタバタとあちこちを飛び回る毎日ですので、時間がある時には「子連れポスティング」をしています。最近の抱っこヒモはうまくできていて、顔を見ながら両手が自由になります。

娘とのコミュニケーション不足を埋め、ニュースを皆さんのもとに届けられるという一石二鳥です。

さらに、道行く人も「カワイイね」「子(孫)の時を思い出す」とのぞきこんでいきます。

娘も部屋の中でグズっていても、外に出るとゴキゲン。

そして、ゆらゆらされるのが気持ちいいのか、すぐに寝てしまいます。

もし、そんな「子連れポスティング」の姿を見かけたら、ぜひ声をかけてください。

# みどりの国際ネットワーク

## 2月京都会議、そして5月韓国交流

ナショナリズムの憎悪を食い止める政治家の役割が大きい  
日中韓の関係がぎくしゃくしています。そして、悲しいことにマスコミも含めてそれを増大する方向で報道がされています。

「政治」の末端にいる私がさらに悲しいことがあります。各国の政治家が自国の市民に説得をするのではなく、ナショナリズムを煽り立てるような行動や発言をすることで。「その方が選挙(統治)に有利」「他の政策を通すのに有利」というような薄っぺらいスケベ心がミエミエです。

今こそ政治家は勇気を持って、平和のための構想を示すべきだと思うのです。

未来を見すえた、みどりの国際ネットワークづくり

私は全国の仲間と共同で「みどりの国際ネットワーク」づくりに取り組んでいます。環境・平和・多様性を特徴とした「みどりの政治」に取り組む人々が世界中にいます。ヨー

ロッパでは「緑の党」という政党があり、政権を担っている国もあります。それらの人たちと一緒にネットワークをつくろうとする試みです。

アジア太平洋レベルでは、今年2月に京都で発足総会があり、私も実行委員として参加しました。

そして、その会合で「北東アジアレベルでも会合を」との声があがり、韓国・モンゴル・台湾のグループと交流を深めています。

私たちの夢はEUのような北東アジア共同体です。

韓国交流ツアー 韓国の市民団体や国会議員と交流

手始めとして、5月中旬に韓国の「みどりの政治グループ」との交流会を行ってきました。

「みどりの政治連帯」や「平

和フォーラム」が中心となり、さまざまな交流や討論の場を用意してくれました。

その中で印象に残っているシーンがあります。超党派の国会議員との「竹島問題」についての討論会で「竹島は平和の領土として両国のものにしては」という発言が韓国の国会議員からあったことです。それは私の考えと全く同じで、国の利害を超えて気持ちを同じくできた瞬間でした。

これからも「みどりの」国際ネットワークで平和を創りたいと思います。

韓国の女性議員もステキでした

6月議会は6月13日より始まりです。主な議題は「土地開発公社」指定管理者制度導入」です。

### 報告 医薬分業について

5月21日にまちづくり協議会で県の職員、市の職員を招いて勉強会が行われました。20名以上の市民が参加。

まず、県の職員からは「医薬分業の法的な意味」と説明され、「かかりつけ薬局を市民が作り、薬に関心を持って欲しい」と締めくくられました。

### 市は説明責任をきちんと果たすべき

市の職員からは、市民病院の院外処方実施後の状況が報告されました。

その後の市民との議論を私の視点で整理すると  
・医薬分業は法律の流れではあるが、強制力はなく地域実情に合わせた実施が可能  
・患者に負担があることを市

はきちんと説明すべきだった  
・これからでも遅くはないので、広報などに掲載すべきという意見がありました。

私は医薬分業については総論では賛成ですが、高砂市民病院で拙速に、一番まずい形で実施したことに疑問を持っています。

イベント情報 まちづくり協議会は、毎月第三土曜日午後2時～中央公民館を定例会とします

まちづくり連続市政勉強会 6月18日(土) テーマ 6月議会の課題